

「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会 子ども記者団」

「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」においては、神戸市スポーツ協会職員も現地できざまなお手伝いをしています。その一環としてアテンドさせていただいた「子ども記者団」についてご紹介します。

東アジアで初開催となった「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」を盛り上げるために、おおしまかなみさん（兵庫県）、きのした こうきさん（奈良県）、はばら やまとさん（岡山県）の小学生3人による「子ども記者団」が結成され、大会に出場する選手や大会に関わる人々について取材が行われました。

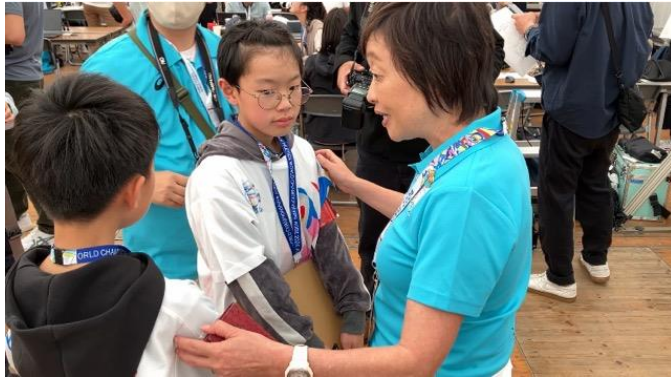


子ども記者は、実際にスタジアム内で競技を行う様子を観戦し、競技を終えた選手やビクトリーセレモニー（メダル授与式）直後のメダリストへのインタビュー、大会を支えるオフィシャルスポンサーのブースなどを小学生の目線で自ら取材を行います。

取材は、開会式前日の5月16日（木）から18日（土）の3日間行われ、活動をサポートするために、当協会職員が全取材に同行しました。

16日（木）は、メディアゾーンにおいて「プレスカンファレンス」が開かれ、ポール・フィッツジェラルド世界パラ陸上競技連盟代表、増田明美会長及び各国の代表選手が出席し、各国のプレスとともに「子ども記者団」2名も取材に参加しました。「母国を代表する選手になるために大事なことは?」「神戸とユニバー記念競技場のいいところは?」と質問を投げかけ、各選手から回答を引き出していました。その後、競技運営に携わる五島昇さんにもインタビューを行いました。





17日（金）は、午前中は走り幅跳びと5000m走等を観戦し、午後はミックスゾーンで走り幅跳びに出場された酒井園実選手にインタビューを行い、その後は開会式を見学しました。



18日(土)は、スタジアム内で「5000m T54 決勝(競技用車いす)」を観戦した後、会場内の売店に向かい、大会組織委員会が市内大学生・留学生と連携して会場で販売しているお弁当の取材を行いました。お弁当を企画した留学生に、神戸ビーフなど神戸市産の食材を使った「兵庫・神戸の和の香りお弁当」や、いろいろな国々の文化が融合した「ウィアーザ輪ルド弁当」の特色などを聞いていました。



メダル授賞式「ビクトリーセレモニー」では、大人のマスコミ記者とともに最前列でその様子を見届けたあと、メダリストに熱心に取材をしていました。



この日の最後は、大会を支えるオフィシャルスポンサーのブースを訪れました。「アシックス」ブースではレーザーでのトラック競技の疑似体験とスタッフへの取材、「トヨタ」ブースではハンドルだけで運転できる自動車の疑似体験、そしてパラアスリートへのインタビューを行い、3日間にわたるすべての取材が無事終了しました。



子ども記者が一生懸命取材した記事は、WEB上で広く発信される予定です。楽しみにお待ちください！

なお、子ども記者の取材当日の詳しい様子は下記サイトからご覧いただけます。

【子どもの未来を考える子育てサイト「未来へいこーよ」／アクトインディ株式会社】

■【KOBE2024 世界パラ陸上 子ども記者レポート①】

プレスカンファレンスで出場選手やポール氏に取材！（PR）

<https://future.iko-yo.net/experience/31744/>

■【KOBE2024 世界パラ陸上 子ども記者レポート②】

いよいよ競技スタート！注目選手を取材しました（PR）

<https://future.iko-yo.net/experience/31751/>

■【KOBE2024 世界パラ陸上 子ども記者レポート③】

ビクトリーセレモニー&メダル獲得選手へインタビュー！（PR）

<https://future.iko-yo.net/experience/31774/>

■【KOBE2024 世界パラ陸上 子ども記者レポート④】

学生と共同開発したお弁当&スポンサーブースも紹介（PR）

<https://future.iko-yo.net/experience/31906/>